

総会プログラム

第1日 6月10日(土)

9:30 会場受付開始 / 9:45 Zoom 開室

9:55 開会の辞

〔自由報告〕

10:00~11:00 「ナチ・ドイツにおける土地収用法制」

森田匠（早稲田大学大学院博士課程）

11:00~12:00 「イギリス近代法と判事—不動産約款を例にして—」

眞嶋叙脩（ケンブリッジ大学大学院博士課程）

12:00~13:30 昼休み

13:30~17:00 〔ミニ・シンポジウム 1〕

「法制史学資料の来し方と行く末—紙媒体資料・蔵書の継承に向けて—」

「趣旨説明」

和仁かや（早稲田大学）

「アーカイブズ保存論の新展開

—「脱・保管 (post-custodial)」時代の渦中で—」

青木睦（前国文学研究資料館）

「特殊文庫の死蔵と再生」

山根泰志（九州大学附属図書館）

「宮崎道三郎旧蔵書の紹介」

新田一郎（東京大学）・田口正樹（東京大学）

「コメント」

ディミトリ・ヴァンオーヴェルベーク（東京大学）

17:30~19:30 懇親会（早稲田大学早稲田キャンパス内：未定）

第2日 6月11日(日)

9:30 会場受付開始 / 9:45 Zoom 開室

10:00~13:00 [ミニ・シンポジウム 2]

「裁判記録のあり方を考える：裁判手続 IT 化時代の課題」

「趣旨説明」 浅古弘（早稲田大学）・藤野裕子（早稲田大学）

「民事裁判の IT 化と裁判記録—非電磁的記録から電磁的記録へ—」

菅原郁夫（早稲田大学）

「刑事裁判の IT 化と裁判記録—何のために、誰のために—」

福島至（龍谷大学）

「裁判の IT 化と裁判記録—台湾の事例—」

浅古弘（早稲田大学）

「歴史研究から見る電子裁判記録の課題」

—大規模コーパスの構築・運用の現状から—

長野壮一（社会科学高等研究院 (EHSS)

レイモン・アロン社会学政治学研究センター博士課程)

「電子記録管理論から見る裁判記録の課題」

—アメリカ連邦政府を中心に—

坂口貴弘（創価大学）

13:00~14:30 昼休み

14:30~16:00 総会

[自由報告]

16:00~17:00 「フランス留学時代の富井政章—西洋と日本の美術の架け橋—」

フレイヤ・テリン（ルーヴェン・カトリック大学）

17:00~17:05 閉会の辞